

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/08/29

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.07	0.17
JPY/THB	0.2356	0.0001
USD/JPY	144.59	0.63
EUR/THB	37.90	0.00
EUR/USD	1.1120	-0.0064
USD/CNH	7.133	0.011
SGD/THB	26.14	0.09
AUD/THB	23.12	0.09
USD/INR	83.96	0.04
USD Index	101.09	0.54

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.280	-0.002
10Y (THB)	2.550	0.005
5Y (USD)	3.665	0.017
10Y (USD)	3.835	0.013

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,501.0	-15
WTI (Oil)	74.52	-1.01
Copper	9,260.5	-187.5

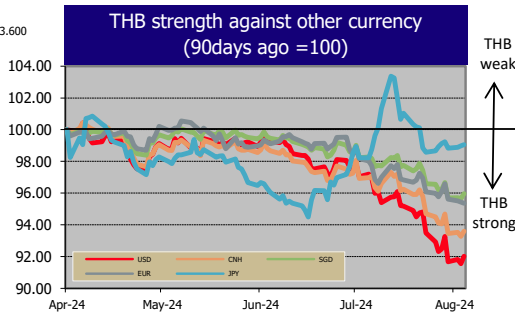
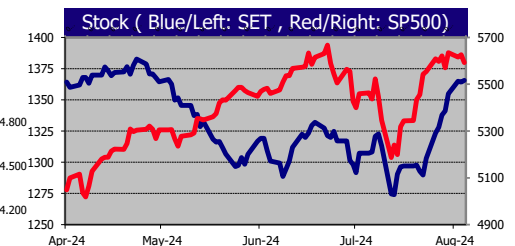
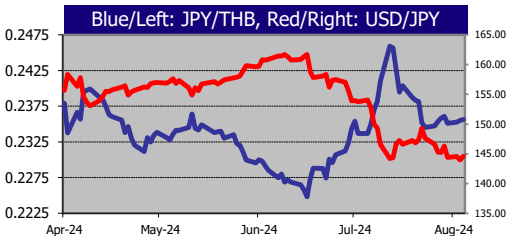
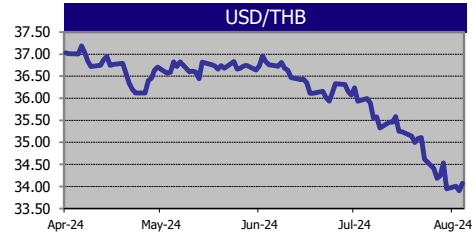
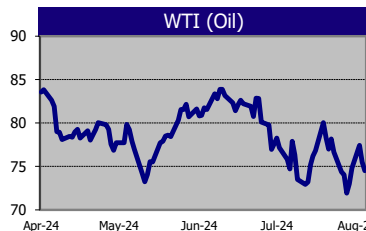
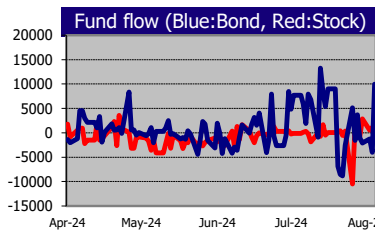
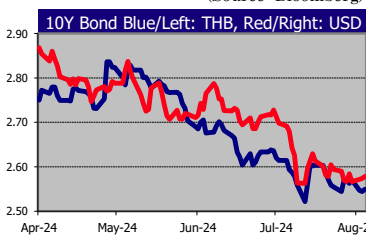
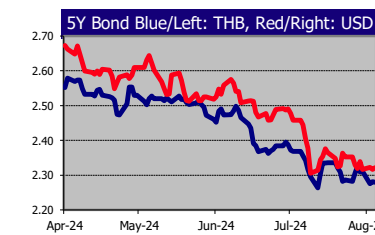
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,365.72	1.41
NIKKEI (JP)	38,371.76	83.14
DOW (US)	41,091.42	-159.08
S&P500 (US)	5,592.18	-33.62
SHCOMP (CN)	2,837.43	-11.30
DAX(GER)	18,782.29	100.48

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,761	679.8
Bond net flow	9,940	13948.7

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは小幅上昇。34パーツ手前でスタート。前日海外時間のドル安の反動から、バンコク時間午後にかけてドルパーツは34パーツちょうど付近まで上昇。しかしその後は反落、34パーツを割り込む水準で海外に渡った。海外時間では特段材料のない中、米金利の動きに追随し、34パーツ付近で上下する展開となり、34.07レベルでクローズ。

●ドル円その他

昨日のドル円は小幅上昇。144円手前でスタートした後、じり高の展開となり、144円台半ば付近まで上昇したが、氷見野日銀副総裁の「経済・物価の見通しが実現する確度が高まれば、金融緩和の度合いを調整していく」との見解を受けて伸び悩み、注目の米NVDA決算も控える中、144円台前半を中心とした推移が続く、そのまま海外に渡った。NY時間午前中に米金利の上昇とともに145円ちょうど付近まで上昇。しかしその後は米金利が低下する動きを受けて144円台前半まで反落。午後に低調な米5年債の入札結果を受けて反発する場面もあったが、勢いは続かず、結局144.59レベルでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

以前本欄に更なる円高を見通すには投機筋の動向、すなわち円ショートポジションの解消に目途をつけた投資家がどれほど円ロングの構築に動くかが肝になりそうと記載した。ゆえに米CFTCが発表する通貨先物ポジションの状況は都度確認するようにしているが、直近20日時点のデータによると、円は前週と同程度のネットロングで、およそ3年半ぶりに2週連続のロングを記録していた。これを潮流の変化と捉えることもできなくはないが、今のところはゆくゆくの日米金利差縮小に賭けた短期戦略の思惑が強いと考えられるため、持続性を伴うかは今後のデータで改めて確認しておきたい。他方、20日時点の状況でより気になったのは円以上にユーロとポンドのロングが積み上がっていたことだ。この状況は今後の為替相場のボラを上げる材料として認識しておく必要があるかもしれない。仮に9月に米欧同時利下げが実施されれば、巻き戻しの受け皿が円に集中する可能性があり、また、そうでなければ世界最大の貿易黒字圏という需給を拠り所にユーロのロングが一層積み上がり、先々の火種となる可能性もある。まずは9月の米利下げ予想幅が25bpと50bpのどちらに収束するかを見極めるべく、米国の労働市場に関する経済指標に注目するとともに、あわせて投機筋による通貨先物ポジションの変遷もよくよく追っていくようにしたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.